

平成22年5月20日

排出削減方法論の申請受付について

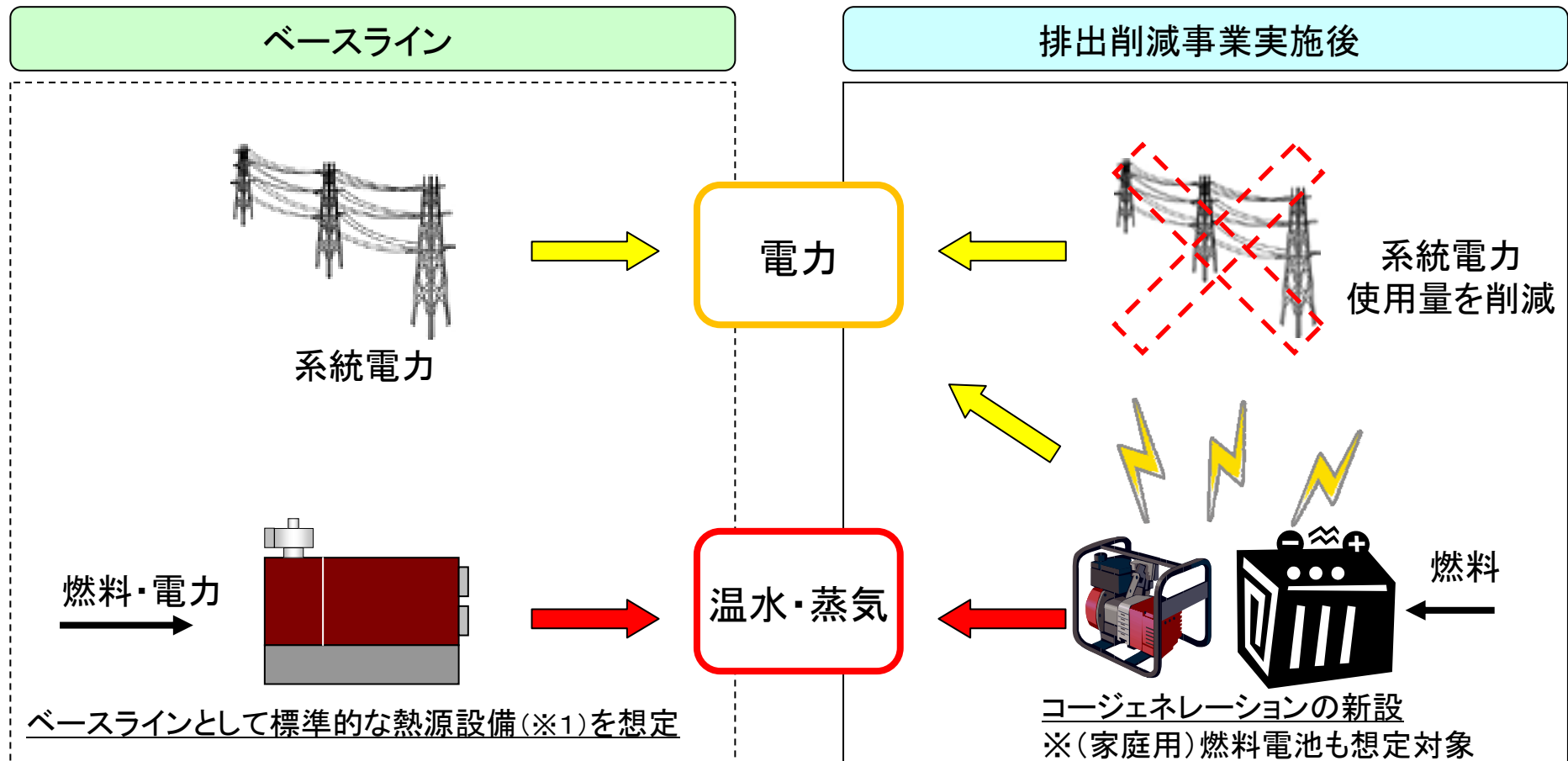
第11回国内クレジット認証委員会(平成22年3月26日開催)以降、本日までに、以下の排出削減方法論の申請を受け付けた。

方法論番号 (案)	方法論名称	新規/修正	申請受付日	申請者	申請方法論の概要等
007-A	コージェネレーションの新設	新規	5月13日	静岡ガス株式会社	標準的な熱源設備に代えてコージェネレーションを新設することで、CO2排出量を削減
004-C	空調設備の新設	新規	5月14日	ダイキン工業株式会社	標準的な空調設備よりも高効率の空調設備を新設することで、CO2排出量を削減

※これらについては、次回以降の国内クレジット認証委員会において、方法論承認のための審議を行う予定。

コージェネレーションの新設(方法論007-A)

コージェネレーションを新設することにより、標準的な熱源設備を導入した場合よりもCO2排出量を削減



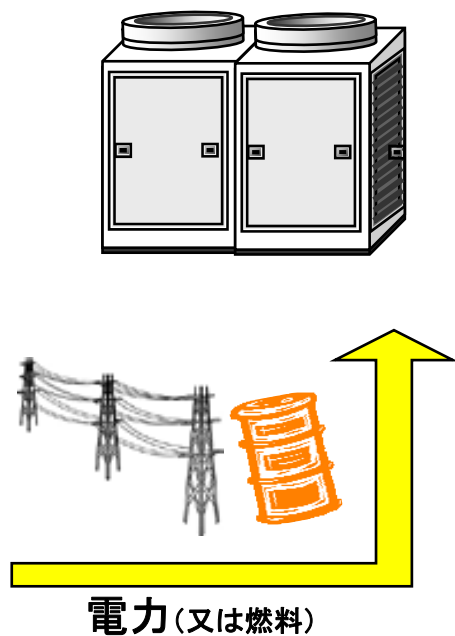
※1 標準的な熱源設備は排出削減事業の内容等の実施状況を踏まえて一般的に選択し得る標準的なエネルギー消費効率の熱源設備とする。

空調設備の新設(方法論004-C)

高効率の空調設備を新設することにより、標準的な空調設備を導入した場合よりもCO2排出量を削減

ベースライン

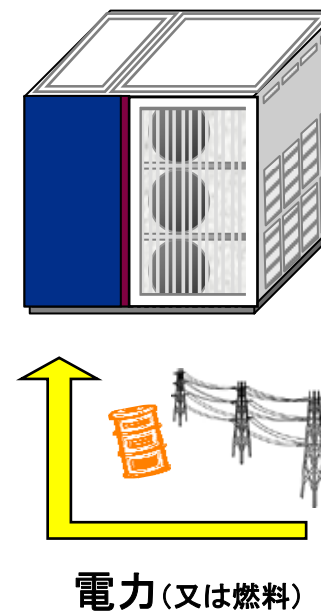
ベースラインとして標準的な空調設備(※1)を想定



冷風・温風

排出削減事業実施後

高効率の空調設備の新設



※1 標準的な空調設備は排出削減事業の内容等の実施状況を踏まえて一般的に選択し得る標準的なエネルギー消費効率の空調設備とする。